

## 案件概要

## 円借款事業の形成と実施の、円滑な進捗を支援

円借款事業の形成（ファクトファインディング時と審査時の事業費の積算、財務・経済分析、実施スケジュールなどの検討促進）および実施促進（コンサルタント選定書類作成、技術評価等）に係る実施機関などへの支援を行っています。

- 契約名：インド国円借款事業形成・実施促進（有償勘定技術支援）
- 契約締結先：独立行政法人国際協力機構（JICA）



業務第三部 業務第一課  
尾ヶ口 和典  
（おがぐち かずのり）



実施機関での協議の様子

## 円借款

## 事業費の積算および財務・経済分析の補助業務を通じ、円借款事業の事業形成に貢献

## 正確・迅速・明確な事業形成関連資料の準備

本契約業務のうち、事業形成段階では、事業費の積算および財務・経済分析の補助業務を行っています。発注者であるJICAの積算・分析方針や各事業の事情を踏まえた積算、分析となるよう、円借款事業の仕組みと手続きを十分に把握のうえ、正確かつ迅速な作業に努めています。作業においては、多くのデータに基づき複雑な計算を必要としますが、作成・更新する資料は、共有する多数の関係者において、かつ将来にわたって有効な資料となるよう、計算過程を明確に記録する構成を心掛けています。

## 専門知識と類似業務の経験で事業形成に貢献

JICSは、2016年から2019年まで、「南アジアにおける円借款事業形成・実施促進（有償勘定技術支援）」業務でも、同様な支援を行ってきました。また、財務・経済分析に関しては、年に1～2回のJICAコアスキル研修にて研修講師を担当し、実務に必要な基礎知識と分析手法を伝授しています。これらの専門知識を今回の業務にも活かし、事業形成期間に膨大な業務に追われるJICA各担当者の効率的な業務推進に貢献していきます。



## 案件概要

## ウクライナへの復旧・復興支援に向けた調査

ロシアによる軍事侵攻下にあるウクライナの復旧・復興に寄与するため、汚染状況や各ドナーの支援状況などの基礎的情報の収集や事業の検討を行うとともに、日本製地雷探知機の導入に向けたパイロット・プロジェクトを実施しました。

- 契約締結先：独立行政法人国際協力機構（JICA）
- 契約締結日：2022年9月30日



業務第一部 地域第二課  
藤崎 整雄  
（ふじさき せいゆう）



業務第一部 地域第二課  
渡辺 仁一  
（わたなべ じんいち）



CMACから地雷探知機のトレーニングを受けるウクライナ地雷除去員

## 技術協力

## ウクライナ地雷・不発弾対策支援に向けた情報収集・確認調査：地雷・不発弾対策における人道支援

## 地雷・不発弾除去支援の実績をウクライナ復興に活かす

本調査におけるパイロット・プロジェクトでは、ウクライナから人道的地雷対策の除去員8人を招聘し、カンボジア地雷対策センター（CMAC）において、日本製の地雷探知機の実機取扱研修を実施しました。CMACとJICSは、地雷の除去活動に必要な地雷除去機や探知機の調達、開発研究など、1998年から25年間にわたる協力関係があります。CMACと共に培ったノウハウと信頼関係は、ラオス、コロンビアの不発弾・地雷対策支援（南南協力）にもつながり、今回のウクライナ支援にも活かされています。

## ウクライナの平和を願い調達で貢献

ウクライナにおける地雷や不発弾による汚染被害が増大している状況下で人々の生活を守るため、できるところから復旧・復興への取り組みを実施していくことが国際社会のコンセンサスとなっており、国際的な支援が実施されています。なかでも地雷・不発弾対策は、人道的な喫緊の課題であるとともに、都市機能や農地の再生など復旧・復興の前提となる重要な課題です。同国の人々が安全・安心に暮らせるように、JICSが培った経験・知見を活かし支援に取り組んでいきます。

16

 平和と公正を  
すべての人に
